

西脇市公共施設等総合管理計画 第3期アクションプラン

－計画期間：令和8（2026）年度～令和12（2030）年度－

－安全で安心な市民サービスを次の世代へ－

令和8（2026）年3月

西脇市

－ 目次 －

1	はじめに	1
2	アクションプランについて	2
(1)	アクションプランの位置付け	2
(2)	アクションプランの目的	2
(3)	アクションプランの計画期間	2
3	アクションプランの基本的な考え方	3
(1)	施設総量（面積）の縮減	3
(2)	複合化など効果的・効率的な整備手法の検討	3
(3)	計画的な維持管理や耐震化による施設利用者の安全性・快適性確保	3
4	第2期アクションプランの検証	4
(1)	第2期アクションプランの概要	4
(2)	重点プロジェクトの検証	5
(3)	対象施設の進捗状況の検証	6
(4)	公共施設の総量適正化進捗状況	7
5	アクションプランにおける具体的取組	8
(1)	公共施設マネジメント体制の構築	8
(2)	公共施設適正化重点プロジェクト	10
(3)	公共施設の総量適正化目標の推進	13
6	個別施設の方針	16
(1)	対象施設の抽出	16
(2)	各施設の方針	16
7	その他	45

※ 本プランにおける注意事項

「延床面積（㎡）」は、小数第1位以下を四捨五入して表記しており、合計が一致しない場合があります。

1 はじめに

西脇市では、人口減少、少子高齢化、財政の硬直化など様々な課題を抱えています。

このような中、過去に整備した公共施設等の老朽化が進んでおり、それらの維持や更新が大きな課題となっています。

そのため、市では、公共施設等の維持や更新に係る課題を克服し、公共施設の適正化を推進するために、平成28（2016）年5月に西脇市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）を策定し、令和5（2023）年3月には、社会環境の変化などを踏まえた改定を行ったところです。

老朽化した公共施設をこれまでどおり維持し更新していくことは、市民ニーズの観点や財政的な観点からも現実的ではありません。そこで、先に策定した総合管理計画では、令和5（2023）年度から令和34（2052）年度までに、約4割の公共施設の延床面積を縮減することで、安全で安心な市民サービスを将来にわたり維持していくこととしました。

約4割の公共施設の延床面積を縮減するために、第2期アクションプラン（令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）では、総量適正化目標を平成27（2015）年度保有面積（約250,000㎡）に対し約1.8%（約4,600㎡）縮減と決めました。

西脇市公共施設等総合管理計画第3期アクションプラン（令和8（2026）年度～令和12（2030）年度）（以下「本プラン」という。）では、第2期アクションプランの進捗や状況等を踏まえ、早急に実施すべき事業を重点プロジェクトと位置付けるとともに、個別施設等の方針を定め、5年間で実施すべき施策を明確にすることで、総量適正化等の公共施設マネジメントを推進します。

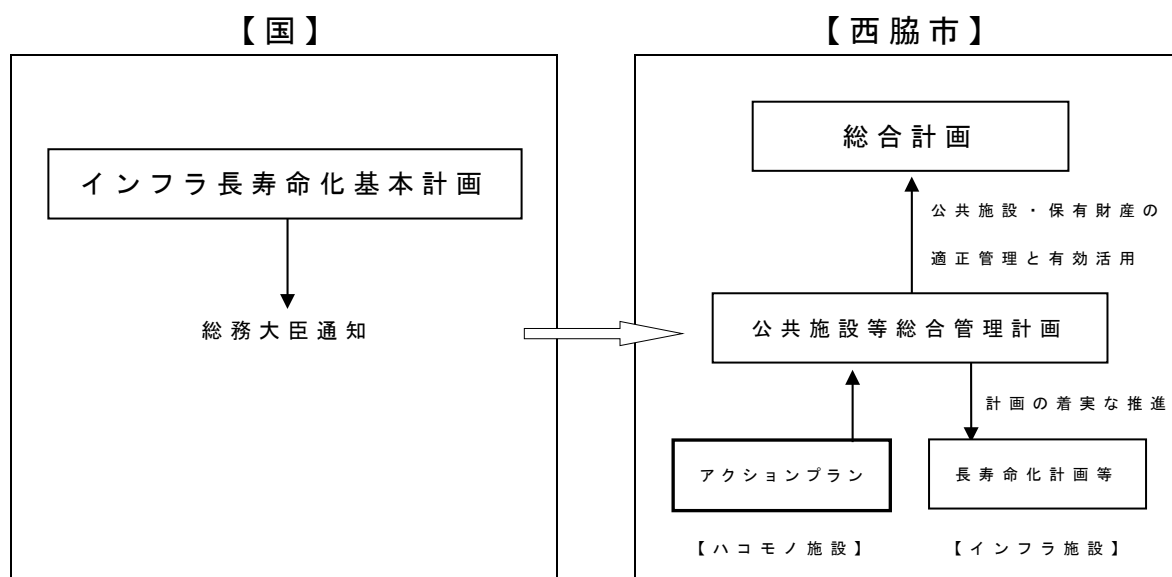
－安全で安心な市民サービスを次の世代へ－と題した本プランを市民の皆様とともに推進していくため、皆様の御理解、御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

2 アクションプランについて

(1) アクションプランの位置付け

本市では、平成26（2014）年4月の総務大臣通知「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」に基づき、平成26（2014）年度から公共施設マネジメントの取組を推進し、平成28（2016）年5月に総合管理計画を策定し、令和5（2023）年3月に改定しました。

本プランは、総合管理計画を着実に推進するための実施計画として策定するもので、その位置付けは、次のとおりです。



(2) アクションプランの目的

総合管理計画は、本市が保有している、いわゆるハコモノ施設（建築物）、インフラ施設全てを対象としたものです。

本プランは、このうちハコモノ施設を対象として、それらの在り方等について横断的に検証し、公共施設総量の縮減等、適正化を推進するものです。

(3) アクションプランの計画期間

総合管理計画は、計画期間が30年間と長期にわたる計画であり、同計画で定めたマネジメント基本方針に係る項目について着実に推進し、進捗状況を管理するため、5年ごとにアクションプランを策定します。

本プランは、総合管理計画の計画期間である令和5（2023）年度から令和34（2052）年度までの30年間のうち、第3期となる令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までを計画期間とします。

3 アクションプランの基本的な考え方

本プランは、総合管理計画のマネジメント基本方針に掲げた基本的な考え方「施設総量（面積）の縮減」、「複合化など効果的・効率的な整備手法の検討」、「計画的な維持管理や耐震化による施設利用者の安全性・快適性確保」を基本とし、ハコモノ施設について、次のとおり取組を推進します。

(1) 施設総量（面積）の縮減

総合管理計画では、本市が保有する公共施設について総論的な観点からマネジメントの方向性と総量適正化目標（延床面積の約4割を縮減）を策定しました。

本プランでは、個別の施設について、より具体的な方針を示すため、早急に実施すべき老朽化施設等に重点を置き、各施設のソフト面（利用状況等）、ハード面（施設建物の健全性等）を評価し、それらに基づき5年間で実施すべき施策を設定し、総量適正化等の公共施設マネジメントを推進します。

(2) 複合化など効果的・効率的な整備手法の検討

公共施設の総量適正化を推進しながら、市民に真に必要なとされる機能については、効果的・効率的な整備手法を検討していく必要があります。

そのため、今後計画される大型事業等については、本プランにおける重点プロジェクトに設定し、公共施設マネジメントの観点から検証を行います。

また、各事業が総合管理計画の主旨に沿ったものとなっているか進捗管理を行うことのできる体制を整備します。

(3) 計画的な維持管理や耐震化による施設利用者の安全性・快適性確保

本市の保有する公共施設の約7割が建築後30年を経過し、施設の老朽化が進んでいます。

必要な施設について施設利用者の安全性・快適性を確保するため、実施すべき施策を示すとともに、計画的な維持管理に向けた推進体制を整備します。

4 第2期アクションプランの検証

(1) 第2期アクションプランの概要

第2期アクションプランでは、建築年数が30年超となる41施設を抽出しました。さらに、次の事業を重点プロジェクトに指定し、それぞれの施設の方針を決定しました。

【重点プロジェクト】 幼稚園閉園に伴う資産整理・活用事業

事業概要	<p>① 幼保一元化への移行により、平成29（2017）年度に公立幼稚園8園がしばざくら幼稚園（旧重春幼稚園）に統合されました。これに伴い、残された幼稚園の整理・活用等を検討します。</p> <p>② 令和4（2022）年度には統合後のしばざくら幼稚園も閉園となるため、整理・活用等を検討します。これらの施設は一部を除き、老朽化の進行や耐震性能が不足（未確認を含む。）しているため、除却や処分を基本の方針とします。基本の方針を踏まえ、遊休化施設の整理・活用方針を決定し、必要な事業を推進します。</p>
事業期間	令和3（2021）年度～令和7（2025）年度
事業規模	<p>【再編施設】</p> <p>西脇幼稚園：983㎡ 重春幼稚園：831㎡ （平成29（2017）年度～令和4（2022）年度：しばざくら幼稚園） 比延幼稚園：205㎡ 芳田幼稚園：366㎡ 楠丘幼稚園：377㎡ 桜丘幼稚園：252㎡</p> <p>※ 双葉幼稚園は、小学校合築施設のため、再編対象から除きます。</p>
事業費	未定
適正化のための目標等	再編施設の総延床面積のうち、処分方針決定済み面積約1,800㎡（上記【再編施設】のうち、活用予定があるしばざくら幼稚園及び芳田幼稚園を除く面積）を目標値として設定します。
（当時）主な関係課	教育総務課、学校教育課、幼保連携課、財政課

(2) 重点プロジェクトの検証

(1)で示した重点プロジェクトの進捗状況について検証を行いました。

重点プロジェクトにおいて、約 1,800㎡の縮減を目標としていましたが、西脇幼稚園は倉庫として利用しており、除却が進まなかったことから、令和7（2025）年度末時点で延床面積が 834㎡の縮減という結果となりました。

重点プロジェクト	目標	実績	達成状況
1	延床面積約 1,800㎡の縮減	比延幼稚園、楠丘幼稚園及び桜丘幼稚園の除却 ⇒ 834㎡縮減	×

(3) 対象施設の進捗状況の検証

対象施設の進捗状況について、施設所管課と総合管理計画所管課で確認を行いました。

その結果、津万地区ライスセンターと黒田庄町前坂共同作業所は施設としての活用は終了していますが、売却等には至らず、方針を検討している状況となっています。

また、第2期アクションプランの進捗状況は、次のとおりです。

	No.	施設名	目標	実績	達成状況	
重点プロジェクト	1	33	西脇幼稚園	除却等	利用中	×
		34	重春幼稚園	維持	維持	○
		36	比延幼稚園	除却等	除却	○
		37	芳田幼稚園	維持	維持	○
		38	楠丘幼稚園	除却等	除却	○
		39	桜丘幼稚園	除却等	除却	○
A：重点プロジェクト 縮減量 合計			1,800㎡縮減	834㎡縮減	×	
	3	大野隣保館	方針検討	方針検討	△	
	4	隣保館上野会館	方針検討	方針検討	△	
	5	コミュニティセンター日野地区会館	方針検討	方針検討	△	
	6	芳田の里ふれあい館	方針検討	方針検討	△	
	7	コミュニティセンター黒田庄地区会館	方針検討	方針検討	△	
	8	黒田庄隣保館	方針検討	方針検討	△	
	10	播磨内陸生活文化総合センター	維持	維持	○	
	11	緑風台古窯陶芸館	維持	維持	○	
	12	総合市民センター	維持	維持	○	
	13	西脇公園（公園事務所等）	維持	維持	○	
	14	日野体育センター	維持	維持	○	
	15	旧グリーンスポーツハウス	廃止等	方針検討	×	
	16	黒田庄体育センター	維持	維持	○	
	17	童子山公園展望台等	維持	維持	○	
	18	青年の家	維持	維持	○	
	20	津万地区ライスセンター	廃止等	方針検討	×	
	21	北はりま職業訓練センター	維持	維持	○	
	22	地方卸売市場	維持	維持	○	
	23	黒田庄町前坂共同作業所	廃止等	方針検討	×	
	27	西脇小学校	維持	維持	○	

28	重春小学校	維持	維持	○
29	日野小学校	維持	維持	○
30	芳田小学校	維持	維持	○
31	西脇中学校	維持	維持	○
32	黒田庄中学校	維持	維持	○
41	障害者地域活動支援センター	維持	維持	○
44	社会福祉協議会事務所	方針検討	方針検討	△
46	旧西脇多可行政事務組合事務所	方針検討	方針検討	△
47	西脇消防署	維持	維持	○
48	医師公舎（五蘊3号）	維持	維持	○
49	医師公舎（緑風台01）	売却等	方針検討	×
50	医師公舎（緑風台02）	売却等	方針検討	×
51	桜丘小学校	維持	維持	○
52	総合福祉センター	維持	維持	○
53	西脇市駅駐輪場	維持	維持	○
B：個別施設 縮減量 合計		2,800㎡縮減	縮減なし	×
C：公営住宅 縮減量 合計		—	1,179㎡	—
D：縮減量 総合計 D = A + B + C		4,600㎡縮減	2,013㎡縮減	×
E：縮減率 E = D / 250,000㎡		約1.8%	約0.8%	×

○：達成、×：未達成、△：どちらとも言えない

(4) 公共施設の総量適正化進捗状況

第2期アクションプランにおける公共施設の総量適正化目標は、平成27（2015）年度保有面積（約250,000㎡）に対し、約1.8%（約4,600㎡）を縮減することでした。

(2)及び(3)の結果から、平成27（2015）年度保有面積に対し、約0.8%（2,013㎡）の縮減にとどまり、目標を達成することはできませんでした。今回、目標を廃止等又は売却等としている施設については、既に市としての活用は終了していることから、引き続き検討を行います。

5 アクションプランにおける具体的取組

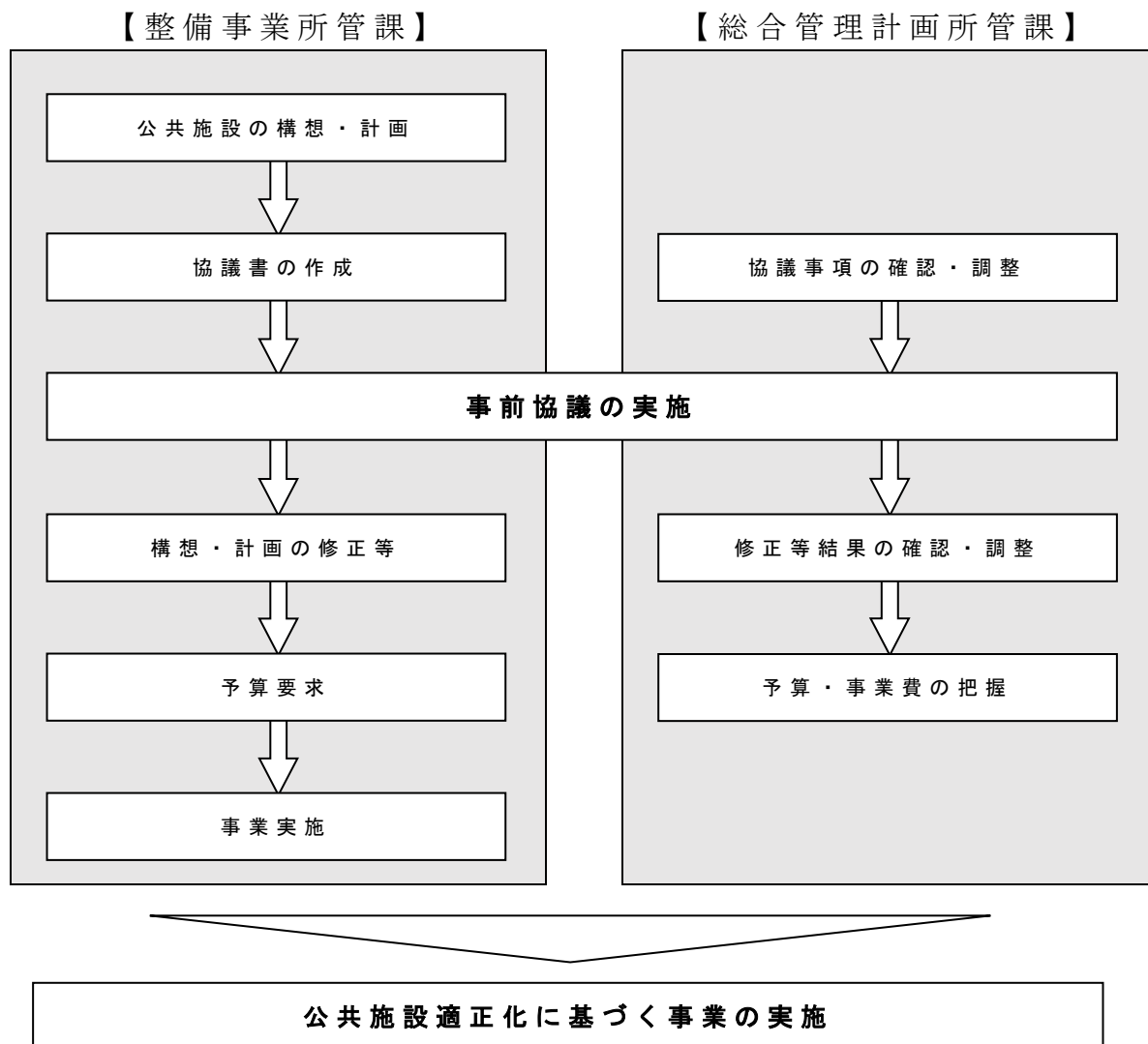
(1) 公共施設マネジメント体制の構築

公共施設マネジメントを推進するため、市役所の庁内体制において、平成28（2016）年度から次の取組を行っています。

ア 公共施設マネジメント事前協議制度

公共施設の適正化を推進するため、公共施設の新築、大規模な改修等の公共施設整備事業の実施等に伴い、当該整備事業所管課と総合管理計画所管課が事前協議を行います。整備事業所管課は事前協議に基づき、整備の方向性を決定することで、整備内容の最適化を進めます。

（制度イメージ）



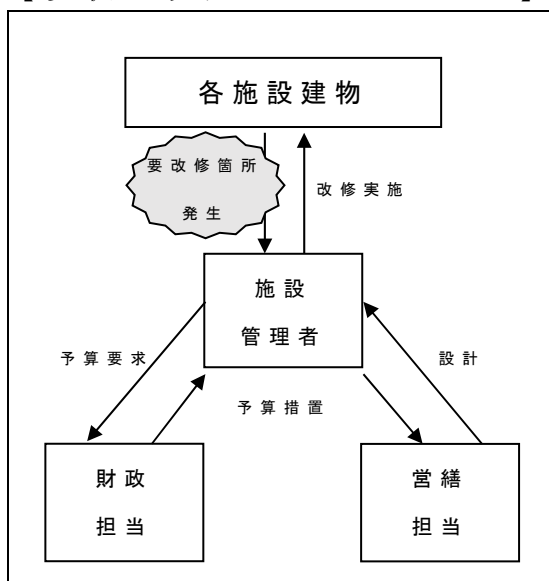
イ 施設保全担当者の設置検討

現在、本市の公共施設は、施設所管課が管理者として必要な維持管理を行っています。

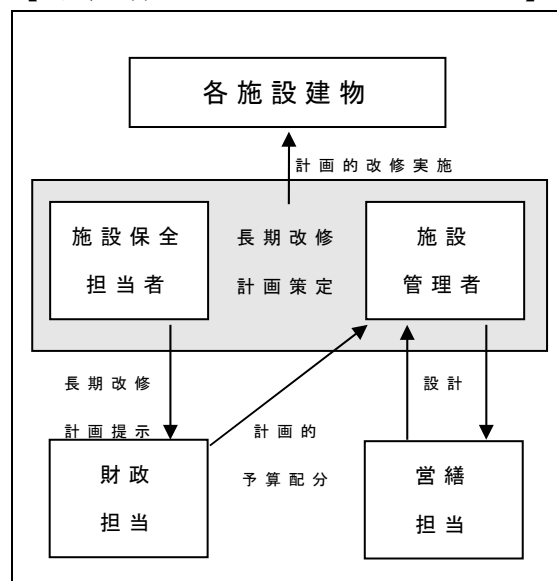
維持管理に当たり必要な技術的支援は、主に建築担当課が実施していますが、今後は予防保全の考え方や全庁的（横断的）な視点からのバランスを考えた施設管理も必要となります。

施設保全担当者として施設管理者が行う維持管理を支援するとともに、全庁的な観点から予防保全、長寿命化施策等を立案・実施していきます。

【現状の改修フローイメージ】



【予防保全型フローイメージ】



※ 各施設のうち、長期的に維持するとした施設について、施設管理者及び施設保全担当者が現状を把握した上で長期改修計画等を策定、計画的な予算措置による改修を実施することで、施設の健全性維持、長寿命化等を実現します。

ウ 公共施設マネジメント庁内推進体制

公共施設マネジメントを全庁的に推進するため、本市では部長級職員で構成する「公共施設等整備検討委員会」、施設所管課の課長級職員で構成する「公共施設の在り方庁内検討委員会」を設置しています。引き続き、これらの推進体制を維持し、本プランに基づき、適正な公共施設マネジメントを進めていきます。

(2) 公共施設適正化重点プロジェクト

本プランの計画期間中に実施される事業のうち、公共施設の適正化に大きく寄与すると考えられる次の事業を重点プロジェクトとし、適宜進捗を管理します。

重点プロジェクトについては、施設所管課及び総合管理計画所管課が協議のうえ、事業ごとの公共施設適正化目標等を設定、公表し、事業完了後に目標の達成度等を確認、公表するものとします。

【重点プロジェクト①】 西脇南中学校区小学校統合事業

事業概要	① 西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、令和12（2030）年度に重春小学校と芳田小学校の統合を図り、重春小学校の敷地内にて新統合小学校を新築します。 ② 芳田小学校の校舎等の整理・活用等を検討します。
事業期間	令和8（2026）年度～令和12（2030）年度
事業規模	【新築施設】 新統合小学校：約 8,000㎡（概算面積） 【再編施設】 重春小学校：6,908㎡ 芳田小学校：3,187㎡ 重春小学校放課後児童クラブ：314㎡ 芳田小学校放課後児童クラブ：366㎡ 合計：10,775㎡
事業費	未定
適正化のための目標等	再編施設の総延床面積に対して、新築施設の延床面積を2,700㎡削減することを目標値として設定します。
主な関係課	教育総務課、学校教育課、財政課、契約課

【重点プロジェクト②】 西脇東中学校区小学校統合事業

事業概要	① 西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、令和11（2029）年度に比延小学校と双葉小学校の統合を図ります。 ② 双葉小学校の校舎等の整理・活用等を検討します。
事業期間	令和8（2026）年度～令和11（2029）年度
事業規模	【再編施設】 比延小学校：5,022㎡ 双葉小学校：2,132㎡
事業費	未定
適正化のための目標等	延床面積を2,100㎡削減することを目標値として設定します。
主な関係課	教育総務課、学校教育課、財政課、契約課

【重点プロジェクト③】 黒田庄中学校区小学校統合事業

事業概要	<p>① 西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、令和12（2030）年度に楠丘小学校と桜丘小学校の統合を図ります。</p> <p>② 桜丘小学校の校舎等の整理・活用等を検討します。</p>
事業期間	令和9（2027）年度～令和12（2030）年度
事業規模	<p>【再編施設】</p> <p>楠丘小学校：4,869㎡</p> <p>桜丘小学校：4,590㎡</p>
事業費	未定
適正化のための目標等	延床面積を4,500㎡削減することを目標値として設定します。
主な関係課	教育総務課、学校教育課、財政課、契約課

(3) 公共施設の総量適正化目標の推進

総合管理計画では、市民サービスをできる限り維持しつつ、財政的制約を克服するという観点から、公共施設の総量適正化目標として、令和5（2023）年度から令和34（2052）年度までの30年間で、公共施設の延床面積を約4割縮減することとしています。

この目標を達成するためには、令和12（2030）年度までに約10.2%（24,262㎡）の面積縮減を進める必要があります。第2期アクションプランで除却済みの施設を除くと、本プランでは約9.4%（22,249㎡）の面積縮減が必要となります。

しかしながら、市民サービスの維持や資産の効率的な活用等の観点を踏まえると、数値のみを追求する機械的な縮減は現実的ではありません。

本プランの計画期間中における対象施設は、次表のとおりとし、個別施設の方針や重点プロジェクト等を踏まえ、総量適正化目標を次のとおり設定します。

本プラン計画期間中の総量適正化目標

令和4（2023）年度保有面積（237,859㎡）に対し7.0%（16,700㎡）※を縮減

※縮減内訳 重点プロジェクト：9,300㎡
個別施設等：5,100㎡
市営住宅：2,300㎡

	No.	施設名	目標
重点プロジェクト	52	重春小学校	統合
	54	比延小学校	統合
	55	双葉小学校	統合（方針検討）
	57	芳田小学校	統合（方針検討）
	58	楠丘小学校	統合
	59	桜丘小学校	統合（方針検討）
	66	芳田小学校放課後児童クラブ	統合（方針検討）
	69	重春小学校放課後児童クラブ	統合（方針検討）
A：重点プロジェクト 縮減量 合計			9,300㎡縮減
個別施設	4	大野隣保館	方針検討
	5	隣保館上野会館	方針検討
	6	コミュニティセンター日野地区会館	維持

7	芳田の里ふれあい館	方針検討
8	コミュニティセンター黒田庄地区会館	維持
9	黒田庄隣保館	方針検討
17	播磨内陸生活文化総合センター	維持
18	鍛冶屋線市原駅記念館	維持
19	緑風台古窯陶芸館	方針検討
20	にしわき経緯度地球科学館	維持
21	総合市民センター	維持
22	天神池スポーツセンター体育館	維持
25	西脇公園（公園事務所等）	維持
26	日野体育センター	方針検討
27	旧グリーンスポーツハウス	除却等
28	黒田庄体育センター	維持
30	童子山公園展望台等	維持
32	日本へそ公園（レストハウス等）	維持
33	中畑林間ファミリー園	維持
34	青年の家	方針検討
35	木谷山キャンプ場避難所	維持
36	日時計の丘公園（宿泊棟等）	維持
39	津万地区ライスセンター	売却等
40	北はりま職業訓練センター	方針検討
42	地方卸売市場	維持
45	黒田庄町前坂共同作業所	売却等
49	西脇小学校	維持
50	日野小学校	維持
51	西脇中学校	維持
56	西脇東中学校	方針検討
60	黒田庄中学校	維持
62	旧西脇幼稚園	除却等
64	幼児教育センター	維持
71	老人保健施設しばざくら荘	維持
72	ワークホームタンポポ	維持
73	総合福祉センター	方針検討
75	障害者地域活動支援センター	維持
79	社会福祉協議会事務所	除却等
81	旧西脇多可行政事務組合事務所	除却等
82	西脇消防署	維持

	110	医師公舎（五蘊1号、2号）	維持
	111	医師公舎（五蘊3号）	維持
	114	西脇市駅駐輪場	維持
	115	医師公舎（緑風台01）	売却等
	116	医師公舎（緑風台02）	売却等
B：個別施設 縮減量 合計			5,100㎡縮減
C：公営住宅 縮減量 合計			2,300㎡縮減
D：縮減量 総合計 D = A + B + C			16,700㎡縮減
E：縮減率 E = D / 237,859㎡			7.0%

公共施設等総合管理計画（平成28年5月版）における縮減目標

項目\期間 (2016～2045)	H28～37 年度	H38～47 年度	H48～57 年度	備考	
既存施設全体に対する 縮減率	3.4%	11.8%	27.1%	総量適正 化目標	42.3%

公共施設等総合管理計画（令和5年3月改定版）における縮減目標

項目\期間 (2023～2052)	R5～14 年度	R15～24 年度	R25～34 年度	備考	
既存施設全体に対する 縮減率	12.8%	18.8%	8.2%	総量適正 化目標	39.8%

今後のアクションプランの縮減率

項目\期間 (2021～2052)	第2期		第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
	R3 ～	R5 ～	R8～12 年度	R13～ 17年度	R18～ 22年度	R23～ 27年度	R28～ 32年度	R33～ 34年度
既存施設全体 に対する縮減 率	—	10.2%	8.2%	9.4%	6.2%	4.1%	1.7%	

6 個別施設の方針

(1) 対象施設の抽出

総合管理計画が対象とするハコモノ施設のうち、詳細なデータ収集の対象とした90㎡以上の延床面積を持つ施設は 101施設（令和7（2025）年4月1日現在）あります。

アクションプランとしては、本プランが第3期の計画となりますが、これまで改修等が行われていない老朽化施設等の在り方について、優先的に検討を行う必要があるため、101施設のうち建築年数が30年超となる53施設（前表を参照）を対象として、個別施設の方針を定めます。

なお、公営住宅20施設については、個別計画である西脇市営住宅長寿命化計画が策定されており、その進捗は公共施設マネジメント事前協議制度等を通じて把握することが可能であるため、アクションプランの対象とはせず、延床面積のみの算出とします。

また、個別施設の評価方法等については、既に廃止又は除却を決定した施設並びに新施設に移行する施設以外は、原則として総合管理計画に定めたものによります。

(2) 各施設の方針

本プランにおける対象施設の方針を示すほか、第2期アクションプランにおける対象施設の方針も一部示します。

ア 集会施設

(7) 用途の方針

集会施設は、市内で10か所整備されています。それらの内訳を見ると、整備背景・目的は様々ですが、集会施設の機能として、会議室、調理室、和室、ホール等の機能は共通して整備されています。

総合管理計画では、集会施設については、1地区1施設を原則として統廃合を進めることとしているため、1地区で複数の集会施設がある場合は、施設で行われている事業等が別施設で代替可能かなどを考慮し個別施設の方針を検討する必要があります。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

N o . 4	—				
施設名	大野隣保館/担当課：まちづくり課				
竣工年度	昭和49（1974）年度	延床面積	744㎡		
利用情報	稼働率9.5%、年間利用者6,729人 運営管理費1,365円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	耐震診断の結果、耐震性能に大きな課題はありませんでしたが、築50年超を経過し、今後老朽化が懸念される状況です。また、人権啓発活動等の拠点施設として役割を果たしています。				
2次評価	地域の意向も確認しながら、市内に4館ある隣保館を統合する方向性で検討を行います。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 5	—				
施設名	隣保館上野会館/担当課：まちづくり課				
竣工年度	昭和51（1976）年度	延床面積	978㎡		
利用情報	稼働率15.2%、年間利用者6,888人 運営管理費812円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	耐震診断の結果、耐震性能に課題があるため、耐震改修が必要です。また、築45年超を経過し、今後老朽化が懸念される状況です。人権啓発活動等の拠点施設として役割を果たしています。				
2次評価	地域の意向も確認しながら、市内に4館ある隣保館を統合する方向性で検討を行います。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 6	-				
施 設 名	コミュニティセンター日野地区会館 /担当課：まちづくり課				
竣工年度	昭和43（1968）年度	延床面積	828㎡		
利用情報	稼働率5.1%、年間利用者4,956人 運営管理費942円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	耐震診断の結果、耐震性能に課題があるため、耐震改修が必要です。また、築55年超を経過し、今後老朽化が懸念される状況です。集会施設としては日野地区に唯一の施設であり一定の利用があります。				
2次評価	コミュニティの拠点として今後も必要な施設であることから、予防保全の考え方を取り入れ、引き続き維持を行います。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 7	-				
施 設 名	芳田の里ふれあい館 /担当課：まちづくり課				
竣工年度	昭和50（1975）年度	延床面積	844㎡		
利用情報	稼働率8.2%、年間利用者2,187人 運営管理費2,187円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	耐震診断の結果、耐震性能に大きな課題はありませんでしたが、築50年を経過し、今後老朽化が懸念される状況です。また、人権啓発活動等の拠点施設としての役割を果たしています。				
2次評価	地域の意向も確認しながら、市内に4館ある隣保館を統合する方向性で検討を行います。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 8	-				
施 設 名	コミュニティセンター黒田庄地区会館 /担当課：まちづくり課				
竣工年度	昭和49（1974）年度	延床面積	1,791㎡		
利用情報	稼働率8.2%、年間利用者12,472人 運営管理費730円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	耐震診断の結果、耐震性能に課題があるため、耐震改修が必要です。また、築50年超を経過し、今後老朽化が懸念される状況です。				
2次評価	コミュニティの拠点として今後も必要な施設であることから、予防保全の考え方を取り入れ、引き続き維持を行います。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 9	-				
施 設 名	黒田庄隣保館/担当課：まちづくり課				
竣工年度	昭和46（1971）年度	延床面積	893㎡		
利用情報	稼働率8.8%、年間利用者3,278人 運営管理費1,206円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	耐震診断の結果、耐震性能に課題があるため、耐震改修が必要です。また、築50年超を経過し、今後老朽化が懸念される状況です。また、人権啓発活動等の拠点施設として役割を果たしています。				
2次評価	地域の意向も確認しながら、市内に4館ある隣保館を統合する方向性で検討を行います。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

イ 社会教育系施設

(7) 用途の方針

社会教育系施設のうち、播磨内陸生活文化総合センターは、平成30（2018）年度に大規模内装改修工事を実施しており、今後は老朽化している外壁等の改修計画を検討する必要があります。

また、緑風台古窯陶芸館が築30年を超えており、維持保全や管理運営等の在り方を検討する必要があります。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№.17	—				
施設名	播磨内陸生活文化総合センター /担当課：生涯学習課				
竣工年度	昭和58（1983）年度	延床面積	3,468㎡		
利用情報	稼働率51.4%、年間利用者19,075人 運営管理費724円/人 指定避難所				
改修履歴	平成30（2018）年度 大規模内装改修工事				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	築40年を超え、平成30（2018）年度に大規模内装改修を実施しました。しかし、外壁等に劣化が見られ、改修計画の検討が必要となっています。				
2次評価	郷土資料館やこどもプラザサテライトがあり、稼働率が高い施設となっています。老朽化が進行している箇所もあるため、予防保全の考え方を取り入れ、引き続き維持を行います。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 18	—				
施 設 名	鍛冶屋線市原駅記念館 /担当課：施設管理課				
竣工年度	平成5（1993）年度	延床面積	96㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	高	ソフト	低	
ソフト面の改善	建築後30年を経過し、経年劣化は見られますが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	年間利用者数が1,500人程度と少なく、ソフト面の改善が必要と考えます。耐用年数までは予防保全の考え方を取り入れ、修繕、更新を行います。				
B-2					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 19	—				
施 設 名	緑風台古窯陶芸館/担当課：生涯学習課				
竣工年度	昭和56（1981）年度	延床面積	585㎡		
利用情報	稼働率9.5%、年間利用者203人 運営管理費1,596円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	建築後40年を経過し、老朽化が懸念されます。また、年間利用者数の低迷等の課題が見られます。				
2次評価	年間利用者数の低迷から、施設来館を目的とした公共施設としての維持必要性は低いと考えられます。一方で、兵庫県指定文化財の保存も目的としており、維持管理費の縮減、利用状況等の改善を図ります。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 20	—				
施設名	にしわき経緯度地球科学館 /担当課：生涯学習課				
竣工年度	平成4（1992）年度	延床面積	1,279㎡		
利用情報	稼働率97.8%、年間利用者23,138人 運営管理費868円/人				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	建築後30年を経過し、経年劣化は見られますが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	個別施設計画に基づき、耐用年数までは予防保全の考え方を取り入れ、修繕、更新等を行います。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

ウ スポーツ施設

(7) 用途の方針

スポーツ施設は市内だけでなく、市外の方も多く利用する施設ですが、体育館等の老朽化が進んでおり、施設の地区偏在、学校施設の地域開放等の状況を踏まえ、長期的な視点で施設の在り方を検討する必要があります。

また、総合市民センターは、大規模な体育施設であり、多目的な利用が行われています。

なお、一部の施設は、整備当初の役割を終えているため、廃止等の方針を決定する必要があります。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

N o . 21	—				
施設名	総合市民センター/担当課：生涯学習課				
竣工年度	昭和56（1981）年度	延床面積	6,924㎡		
利用情報	稼働率26.0%、年間利用者80,487人 運営管理費404円/人 指定避難所				
改修履歴	平成30（2018）年度 大規模内装改修工事				

1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	築40年を超え、平成30（2018）年度に大規模内装改修を実施しました。しかし、外壁等に劣化が見られ、改修計画の検討が必要となっています。				
2次評価	個別施設計画に基づき、維持管理を計画的に実施していきます。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 22	—				
施設名	天神池スポーツセンター体育館 /担当課：生涯学習課				
竣工年度	平成4（1992）年度	延床面積	7,534㎡		
利用情報	稼働率29.7%、年間利用者7,534人 運営管理費818円/人 指定避難所				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	建築後30年を経過し、経年劣化は見られますが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	個別施設計画に基づき、維持管理を計画的に実施していきます。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 25	—			
施設名	西脇公園（公園事務所等） /担当課：施設管理課			
竣工年度	昭和45（1970）年度	延床面積	1,022㎡	
利用情報	稼働率8.3%、年間利用者23,463人 運営管理費661円/人			

1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	公園施設の一部（事務所、倉庫）が築55年を超えるため、施設の老朽化に課題があります。				
2次評価	公園事務所については、別敷地へ移転する計画となっています。その他の施設については、公園長寿命化計画に基づき、改修等を計画的に実施していきます。				
B-1					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

No. 26	-				
施設名	日野体育センター/担当課：生涯学習課				
竣工年度	昭和51（1976）年度	延床面積	778㎡		
利用情報	稼働率26.5%、年間利用者4,587人 運営管理費75円/人 自主避難所・指定避難所				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	避難所に指定されていますが、築45年を超え、施設の老朽化、耐震性能に課題があります。				
2次評価	個別施設計画に基づき、耐用年数までは予防保全の考え方を取り入れ、修繕、更新等を行います。				
B-1					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	方針 検討	方針 検討

No. 27	-				
施設名	旧グリーンスポーツハウス /担当課：生涯学習課				
竣工年度	昭和53（1978）年度	延床面積	349㎡		
利用情報	地元団体に1年単位で無償賃貸契約している。				

1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	築45年を超え、施設の老朽化、耐震性能に課題があります。整備当初の役割は終えており、現在は地元団体の活動場所として一部が使用されています。				
2次評価	老朽化が著しく、当初の機能も果たしていないため、施設廃止や地元移管に向けた施設の在り方を検討します。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 28	—				
施 設 名	黒田庄体育センター/担当課：生涯学習課				
竣工年度	昭和52（1977）年度	延床面積	1,393㎡		
利用情報	稼働率38.5%、年間利用者9,661人 運営管理費44円/人				
改修履歴	平成30（2018）年度 照明改修工事				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	築45年を超え、施設の老朽化、耐震性能に課題があります。黒田庄地区に位置するスポーツ施設として一定の利用があります。				
2次評価	老朽化対策、耐震改修等を実施し、維持していきます。また黒田庄中学校の統廃合とも併せて検討を行います。				
B — 1					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

エ レクリエーション施設・観光施設

(7) 用途の方針

一部の小規模な施設については、老朽化の進行や未活用のものであるため、在り方を見直していく必要があります。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№.30	—				
施設名	童子山公園展望台等/担当課：施設管理課				
竣工年度	昭和47（1972）年度	延床面積	111㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	公園施設の一部が築50年を超え、施設内外に劣化が見られ、改修計画の検討が必要になっています。				
2次評価	公園長寿命化計画に基づき、改修等を計画的に実施してまいります。				
C					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目（方向性）	維持	維持	維持	維持	維持

№.32	—				
施設名	日本へそ公園（レストハウス等） /担当課：施設管理課				
竣工年度	平成7（1995）年度	延床面積	595㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	建築後30年を経過し、経年劣化は見られますが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	個別施設計画に基づき、予防保全の考え方を取り入れ、修繕、更新等を行い、耐用年数までの利用に努めます。				
A					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目（方向性）	維持	維持	維持	維持	維持

№.33	—				
施設名	中畑林間ファミリー園/ 担当課：商工観光課				
竣工年度	平成6（1994）年度	延床面積	332㎡		
利用情報	稼働率18.7%、年間利用者2,826人 運営管理費347円/人				

1次評価	ハード	高	ソフト	低	
ソフト面の改善	建築後30年を経過し、経年劣化は見られますが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	双葉小学校の統合を踏まえ、今後の方針を検討していきます。				
B-2					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 34	—				
施設名	青年の家/担当課：生涯学習課				
竣工年度	昭和54（1979）年度	延床面積	2,036㎡		
利用情報	稼働率12.1%、年間利用者57,927人 運営管理費317円/人 福祉避難所				
改修履歴	平成28（2016）年度 体育室屋根改修工事 平成30（2018）年度 西館トイレ改修工事 令和元（2019）年度 西館外壁等改修工事				
1次評価	ハード	高	ソフト	低	
ソフト面の改善	一部に経年劣化が見られるものの、屋上防水・外壁改修を行い、ハード面に大きな課題はありません。また、本市で唯一の青少年向け宿泊施設として一定の利用があります。				
2次評価	個別施設計画に基づき、耐用年数までは予防保全の考え方を取り入れ、修繕、更新等を行います。				
B-2					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	方針 検討	方針 検討

N o . 35	—				
施設名	木谷山キャンプ場避難所/ 担当課：農林振興課				
竣工年度	平成6（1994）年度	延床面積	102㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	高	ソフト	低	

ソフト面の改善	建築後30年を経過し、経年劣化は見られるが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	個別施設計画に基づき、予防保全の考え方を取り入れ、修繕、更新等を行い、耐用年数までの利用に努めます。				
B-2					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 36	—				
施設名	日本のへそ日時計の丘公園（宿泊棟等） / 担当課：商工観光課				
竣工年度	平成5（1993）年度	延床面積	2,051㎡		
利用情報	稼働率39.1%、年間利用者24,467人 運営管理費83円/人				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	平成24（2012）年度に大規模改修を行っており、おおむね良好となっておりますが、未改修の屋根と外壁については、老朽化が進行しています。				
2次評価	長期的に維持すべき施設として計画的な維持管理及び利用環境改善を進めていきます。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

オ 産業系施設

(7) 用途の方針

産業系施設は、卸売市場や職業訓練センターなどが整備されています。

かつて、農業経営の近代化等を図るために整備された施設等の一部は、更なる合理化の推進等により、利用を中止しているものや遊休化している施設があります。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№. 39	—				
施設名	津万地区ライスセンター /担当課：農林振興課				
竣工年度	昭和53（1978）年度	延床面積	1,283㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	ライスセンターとしての稼働は休止しており、築45年を超え、施設の老朽化に課題があります。				
2次評価	民間への売却も視野に方針の検討を行います。				
C					
年度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目（方向性）	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

№. 40	—				
施設名	北はりま職業訓練センター /担当課：商工観光課				
竣工年度	昭和54（1979）年度	延床面積	2,046㎡		
利用情報	稼働率8.0%、年間利用者22,125人 運営管理費262円/人 指定避難所				
1次評価	ハード	高	ソフト	低	
ソフト面の改善	施設は大規模改修を実施していることから、維持管理に当たり大きな課題はありません。				
2次評価	数年は維持していく中で、事業の需要を見ながら、方針検討を行います。				
B-2					
年度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目（方向性）	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

№.42	—				
施設名	地方卸売市場/担当課：農林振興課				
竣工年度	昭和57（1982）年度	延床面積	5,251㎡		
利用情報	—				
改修履歴	平成28（2016）年度 防水工事				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	建築後40年を経過し、経年劣化が見られます。				
2次評価	適切に修繕を行い、当面は維持を行います。				
B-1					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

№.45	—				
施設名	黒田庄町前坂共同作業所 /担当課：農林振興課				
竣工年度	昭和53（1978）年度	延床面積	954㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	施設としての稼働は休止しており、築45年を超え、施設の老朽化に課題があります。				
2次評価	解体費用を見積りした上で地元へ払下げを行う予定となっています。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

カ 学校

(7) 用途の方針

学校施設は、最も重要な公共施設のひとつとして、計画的な耐震化や利用環境の改善等を進めてきました。

一方で、本市では少子化が進行しており、教育環境等の充実と合わせて、空き教室等をはじめとする学校施設の活用が継続的な課題となっています。また、一部の学校では、プール施設の老朽化が進行しており、それらの対策を検討する必要があります。

学校施設は、義務教育施設として、適切な状態で長期的に維持すべき施設であり、地域で最も身近な公共施設です。

そのため、西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議の答申を踏まえ、効果的・効率的な学校施設の在り方、持続可能な在り方を検討していく必要があります。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和5（2023）年度情報による）

N o . 49	—				
施設名	西脇小学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和12（1937）年度	延床面積	7,524㎡		
利用情報	児童数 409人 自主避難所・指定避難所				
改修履歴	平成28（2016）年度 保存改修工事 令和元（2019）年度 大規模改修工事 令和2（2020）年度 RC棟改修工事				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	大規模改修等を実施しており、ハード面の大きな課題はありません。 また、木造校舎が市内初の国重要文化財に指定されています。				
2次評価	長寿命化計画に資する維持保全を行うとともに、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、今後の方針を検討していきます。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

№.50	—				
施設名	日野小学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和59（1984）年度	延床面積	5,967㎡		
利用情報	児童数 160人 指定避難所				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	空調整備、便所洋式化改修等を実施しており、ハード面の大きな課題はありません。				
2次評価	長寿命化計画に資する維持保全を行うとともに、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、今後の方針を検討していきます。				
A					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

№.51	—				
施設名	西脇中学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和49（1974）年度	延床面積	9,954㎡		
利用情報	生徒数 307人 指定避難所				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	建築後50年を経過し、老朽化が進行しています。				
2次評価	長寿命化計画に資する維持保全を行うとともに、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、今後の方針を検討していきます。				
B-1					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目 (方向性)	改修	改修	維持	維持	維持

N o . 52	重点プロジェクト				
施設名	重春小学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和46（1971）年度	延床面積	6,908㎡		
利用情報	児童数 742人 自主避難所・指定避難所				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
統合	建築後50年を経過し、老朽化が進行しています。				
2次評価	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、				
A	芳田小学校との統合を進めます。				
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	統合

N o . 56	—				
施設名	西脇東中学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	平成6（1994）年度	延床面積	4,471㎡		
利用情報	生徒数 81人				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	空調整備、便所洋式化改修等を実施しており、ハード面の大きな課題はありません。				
2次評価	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、				
A	今後の方針を検討していきます。				
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

№.57	重点プロジェクト				
施設名	芳田小学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和41（1966）年度	延床面積	3,187㎡		
利用情報	児童数 81人 指定避難所				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
統合	建築後50年を経過し、老朽化が進行しています。				
2次評価	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、 重春小学校との統合を進めます。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	統合

№.58	重点プロジェクト				
施設名	楠丘小学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	平成5（1993）年度	延床面積	4,869㎡		
利用情報	児童数 154人 指定避難所				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
統合	空調整備、便所洋式化改修等を実施しており、ハード面の大きな課題はありません。				
2次評価	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、 桜丘小学校との統合を進めます。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	統合

N o . 59	重点プロジェクト				
施設名	桜丘小学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	平成元（1989）年度	延床面積	4,590㎡		
利用情報	児童数 99人 指定避難所				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
統合	空調整備、便所洋式化改修等を実施しており、ハード面の大きな課題はありません。				
2次評価	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、				
A	楠丘小学校との統合を進めます。				
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	統合

N o . 60	—				
施設名	黒田庄中学校/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和58（1983）年度	延床面積	7,026㎡		
利用情報	生徒数 148人 自主避難所・指定避難所				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	空調整備、便所洋式化改修等を実施しており、ハード面の大きな課題はありません。				
2次評価	長寿命化計画に資する維持保全を行うとともに、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、				
A	今後の方針を検討していきます。				
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

キ 幼稚園

(7) 用途の方針

幼稚園施設は、西脇市就学前教育・保育の推進に関する基本方針（平成26（2014）年8月策定）に基づき、平成29（2017）年度からしばぎくら幼稚園に1園化され、私立保育所の認定こども園への移行がなされました。

その後、跡地等の活用計画について、本プランを重点プロジェクトに指定し、公共施設マネジメントに資する事業となるよう検討を進めます。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№.62	—				
施設名	旧西脇幼稚園/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和31（1956）年度	延床面積	983㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	平成29（2017）年3月末に閉園し、現在は倉庫として利用しています。				
2次評価	除却に向けた検討を行います。				
C					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目（方向性）	維持	維持	維持	除却	—

№.64	—				
施設名	幼児教育センター（旧しばぎくら幼稚園） /担当課：幼保連携課				
竣工年度	昭和41（1966）年度	延床面積	831㎡		
利用情報	—				
改修履歴	平成28（2016）年度 耐震補強及び改修工事				
1次評価	ハード	高	ソフト	低	
ソフト面の改善	平成28（2016）年度に大規模改修工事を行っており、ハード面には大きな課題はありません。				

2次評価	施設の老朽化を踏まえ、今後の方針を検討していきます。				
B-2					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 66	重点プロジェクト				
施 設 名	芳田小学校放課後児童クラブ（旧芳田幼稚園）/担当課：教育総務課				
竣工年度	昭和63（1988）年度	延床面積	366㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の 改善	建築後35年を経過し、経年劣化は見られますが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づき、				
B-1	後の方針を検討していきます。				
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

ク 福祉施設

(7) 用途の方針

福祉施設は、総合福祉センター等をはじめ複数が各地区に整備されています。

ソフト面に大きな課題がある施設はありませんが、総合福祉センターは、築年数は比較的新しいものの、駐車場が不足する等の課題があります。そうした課題への対応と合わせて、高齢者の方や障害者の方等がハード面、ソフト面の両面から利用しやすい施設の在り方等の検討を進めていく必要があります。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№.71	—				
施設名	老人保健施設しばざくら荘 /担当課：老人保健施設				
竣工年度	平成5（1993）年度	延床面積	3,835㎡		
利用情報	福祉避難所				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	外壁や屋根等の老朽化が進んでいるため、個別施設計画に基づき、定期的な点検を実施し、維持管理を行います。				
2次評価	経営戦略では、令和10（2028）年度までは維持する方針となっており、令和11（2029）年度以降も維持する考えの中で、民間活用なども含めて方針の検討を行います。				
B—1					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目（方向性）	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 72	—				
施 設 名	ワークホームタンポポ /担当課：社会福祉課				
竣工年度	平成4（1992）年度	延床面積	334㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
維持	建築後30年を経過し、経年劣化は見られますが、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	利用者等の意向を踏まえ、本施設について長寿命化等を見据えた改修が必要か継続的に検討を進めるとともに、当面の間、維持します。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 12	R 13
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 73	—				
施 設 名	総合福祉センター/担当課：社会福祉課				
竣工年度	平成元（1989）年度	延床面積	1,820㎡		
利用情報	稼働率28.7%、年間利用者25,450人 運営管理費201円/人				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の 改善	外壁や屋根等の老朽化が進んでいるため、個別施設計画に基づき、定期的な点検を実施し、維持管理を行います。				
2次評価	利用者等の意向を踏まえ、本施設について長寿命化等を見据えた改修又は移転などの検討を進めます。				
B — 1					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討	方針 検討

N o . 75	—				
施 設 名	障害者地域活動支援センター /担当課：社会福祉課				
竣工年度	昭和62（1987）年度	延床面積	737㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	施設の老朽化が進んでおり、長期的な維持のためには、今後大規模な改修が必要な状況です。 ソフト面では、福祉団体に無償貸付し、継続的に利用されており、大きな課題はありません。				
2次評価	利用者等の意向を踏まえ、本施設について長寿命化等を見据えた改修が必要か継続的に検討を進めるとともに、当面の間、維持します。				
B—1					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

ケ 庁舎等

(7) 用途の方針

行政庁舎は、老朽化が進行しているほか、耐震性能についても不足している状況です。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№.79	—				
施設名	社会福祉協議会事務所（旧西脇健康福祉事務所）/担当課：契約課				
竣工年度	昭和37（1962）年度	延床面積	944㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	築60年を超え、老朽化が進んでいるほか、耐震性能不足の懸念があります。社会福祉協議会の事務所として利用されています。				
2次評価	社会福祉協議会の動向により、今後用途の必要がなくなった時点で除却等の検討を行います。				
C					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目（方向性）	維持	維持	方針検討	方針検討	除却等

№.81	—				
施設名	兵庫県農業共済組合西脇多可事務所 （旧西脇多可行政事務組合事務所） /担当課：契約課				
竣工年度	昭和56（1981）年度	延床面積	463㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	老朽化が進んでいるほか、耐震性能不足の懸念があります。令和3（2021）年度から兵庫県農業共済組合西脇多可事務所として利用されています。				
2次評価	令和7年度で兵庫県農業共済組合西脇多可事務所の貸付が終了します。今後は庁内や庁内関係団体の活用、売却又は除却を検討します。				
C					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目（方向性）	方針検討	方針検討	方針検討	除却等	—

コ 消防関係施設

(7) 用途の方針

本市の消防業務は、一部事務組合である北はりま消防組合が担っています。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№.82	—				
施設名	西脇消防署/担当課：防災安全課				
竣工年度	昭和55（1980）年度	延床面積	1,461㎡		
利用情報	—				
改修履歴	平成29（2017）年度増築・改修				
1次評価	ハード	高	ソフト	高	
施設の維持	建替え工事を実施しており、ハード面に大きな課題はありません。				
2次評価	長期的に維持すべき施設として計画的な維持管理を進めます。				
A					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

サ その他の公共施設

(7) 用途の方針

その他の公共施設は一部遊休化している施設があるため、それらの利活用方策が課題となっています。

(4) 個別施設の方針（各数値は令和6（2024）年度情報による）

№.110	—				
施設名	医師公舎（五蘊1号、2号） /担当課：西脇病院				
竣工年度	平成4（1992）年度	延床面積	748㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	築30年を経過し、施設の老朽化が進んでおり、外壁等の改修が必要な状況です。				
2次評価	現在も居住中であり、引き続き維持を行います。				
B-1					
年度	R8	R9	R10	R11	R12
実施項目（方向性）	維持	維持	維持	維持	維持

№.111	—				
施設名	医師公舎（五蘊3号） /担当課：西脇病院				
竣工年度	昭和58（1983）年度	延床面積	429㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の改善	築40年を経過し、施設の老朽化が進んでおり、外壁等の改修が必要な状況です。				
2次評価	現在も居住中であり、引き続き維持を行います。				
B-1					

年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 114	—				
施 設 名	西脇市駅駐輪場/担当課：施設管理課				
竣工年度	平成2（1990）年度	延床面積		303㎡	
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	高	
ハード面の 改善	築35年を経過し、施設の老朽化が進んでいます。				
2次評価	個別施設計画に基づき、耐用年数までは予防保全の考え方を取り入れ、修繕、更新等を行います。				
B—1					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	維持	維持	維持	維持	維持

N o . 115	—				
施 設 名	医師公舎（緑風台01）/担当課：西脇病院				
竣工年度	昭和54（1979）年度	延床面積		98㎡	
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的 見直し	築45年を経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、長期間入居者がいない状況です。				
2次評価	空き家バンクに登録していますが、売却には至っておらず、引き続き売却を検討します。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目 (方向性)	売却 検討	売却 検討	売却 検討	売却 検討	売却 検討

№.116	—				
施設名	医師公舎（緑風台02）/担当課：西脇病院				
竣工年度	昭和54（1979）年度	延床面積	105㎡		
利用情報	—				
1次評価	ハード	低	ソフト	低	
抜本的見直し	築45年を経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、長期間入居者がいない状況です。				
2次評価	空き家バンクに登録していますが、売却には至っておらず、引き続き売却を検討します。				
C					
年 度	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
実施項目（方向性）	売却 検討	売却 検討	売却 検討	売却 検討	売却 検討

※ 上記以外に、総合管理計画に具体的名称を掲載していない90㎡未満の施設として医師公舎（緑風台03）が1戸あり、遊休化しているため上記施設とともに方針を検討します。

7 その他

インフラ系施設については個別施設計画等をもとに、総合管理計画の主旨に沿った適正な管理を推進していきます。

【主な個別施設計画】

- (1) 公園長寿命化計画
- (2) 橋梁長寿命化計画
- (3) 水道事業経営戦略
- (4) 下水道事業経営戦略